授業科目名	乳児小児救命法			教員名	髙後　仁 / マスターワークス		
配当年次	2	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係						ナンバリング	2D605
授業内容を示すキーワード	乳児、小児、救命法、心肺蘇生法、けが・事故・病気、手当						
授業の概要	保育環境においては、睡眠時の呼吸停止や窒息、溺水など、生命にかかわる緊急時への対応が最も重要であり、さらに日常的なけがや急病への適切な対応と手当ての仕方を習得しておくことが必要となります。 本授業は生命の優先順位に基づき、現場の手順に沿って救命・応急処置の講義、実習を行います。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 この授業の目的は、保育現場における事故や急病の予防と、万一の緊急時に医師や救急隊に引き継ぐまでの手当てを習得します。保育者・教育者として、こどもの生命と安全を守るための必須項目です。 【到達目標】 全ての授業に出席することにより、L.S.F.A.-Children's（小児用BLSプログラム）の「FIRSTAIDER with CPR Training Certificate」認定カードを申請し、取得することができる。 認定を取得すると、L.S.F.A.本部により2年間にわたり訓練内容が証明される。						
授業の方法等	こどもの事故や急病の現場における行動手順と緊急度の優先順位に沿って内容を進めます。 短時間の講義を行った後、すぐに該当する実技演習をグループワークにて行います。 なお心肺蘇生などの救命処置においては、最新ガイドラインに準拠し、乳児・小児に特化した実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■試験〔 実技 〕20% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他〔 事前・事後レポート・中間試験　各20点×3 〕60%						
DPに掲げる学力の割合	DP1：30%　DP2：20%　DP3：30%　DP4：10%　DP5：0%　DP6：10%　〔合計100%〕 ※10%単位						
教科書	「こどもの事故と応急手当（第6版）」吉田一心・伊東和雄著 マスターワークス ※購入方法については後日指示する。						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	子どもの保健　子どもの健康と安全						
質問受付の方法	講師控室・講習中随時						
履修上の注意	運動できる格好・髪型で参加。実技練習中はマスクを着用を推奨。 遅刻・欠席・私語・居眠り等は、内容理解不足として単位修得が不可（不合格）となる場合があります。						

授業計画 と 時間外学習	1	事前指導・受講上の留意点、こどもの安全と事故事例、及び法的責任に関する法令について 〈予習〉シラバスと事前に配付するプリントを基に内容を確認する。90分 〈復習〉当日配付のプリントをまとめる。90分
	2	保育環境における突然死と予防対策、こどもの事故の現状と応急手当の必要性 〈予習〉教科書P3-9 事故防止と応急手当の役割を確認。90分 〈復習〉保育睡眠中の安全管理方法をリストアップする。教科書P8 連携の必要性を確認する。90分
	3	事故や急病の現場における観察と接触（安全確保、感染予防） 〈予習〉教科書P12-13現場における安全確保の手順を確認。感染防止の方法を確認する。90分 〈復習〉事故現場に遭遇した際の4つの基本的な手順をまとめる。90分
	4	生の徴候（反応、呼吸、出血）の調査、反応がないこどもの呼吸管理（気道確保と回復体位） 〈予習〉教科書P15-16 脳への酸素供給の重要性とP20-22意識不明者への気道確保の方法を確認。90分 〈復習〉緊急性の評価（赤、黄、緑）をまとめる。呼吸管理の重要性を再確認。90分
	5	心肺停止への一次救命処置（乳児、小児の心肺蘇生/CPR） 〈予習〉教科書P25-29 乳児、小児への心肺蘇生の手順および胸骨圧迫、人工呼吸の方法を確認。90分 〈復習〉心肺蘇生の手順とｽｷﾙをまとめる。心原性心停止と呼吸原性心停止の違いをまとめる。90分
	6	心肺蘇生とAEDの使用 〈予習〉教科書P36-39 AEDのメカニズムと使用方法を確認。90分 〈復習〉乳児、小児への心肺蘇生とAED使用の手順をまとめる。90分
	7	気道内異物の除去（乳児、小児） 〈予習〉教科書P42-44 乳児と小児の窒息時の手順と手当の方法を確認する。90分 〈復習〉気道内異物除去方法と、窒息事故防止についてまとめる。90分
	8	止血とショック管理（止血法、保温法） 〈予習〉教科書P47-50 止血の方法とショックの徴候・症状を確認する。90分 〈復習〉直接圧迫による止血方法を再確認する。体位管理と保温の必要性についてまとめる。90分
	9	全身のけがの調べ方、各部のけがと応急手当（頭、首、胸、腹のけが、傷と包帯、骨折、熱傷など） 〈予習〉教科書P52-55 けがの調査17項目とP58-69 けがの応急手当を確認。90分 〈復習〉17項目のけがの確認方法をまとめる。生命に関わるけがの注意点をまとめる。90分
	10	中間指導　9回目までの内容を確認するため筆記試験とフィードバック 〈予習〉9回目までの内容をテキストを参照し確認する。90分 〈復習〉手順ワークシートをまとめる。90分
	11	こどもの急病の調査（脈拍、呼吸、体温、顔色など） 〈予習〉教科書P70 4つの調査項目を確認する。90分 〈復習〉脈拍、呼吸、体温、顔色の観察方法をまとめる。90分
	12	こどもの病気の手当（熱中症、発熱、けいれん、腹痛、脱水、アナフィラキシーなど） 〈予習〉教科書P72-83 こどもに起こる急病と手当を確認する。90分 〈復習〉保育園でよく起こりうる熱中症、けいれん、アナフィラキシーへの対応方法をまとめる。90分
	13	生物によるけが、中毒、こどもの虐待、災害時の注意 〈予習〉教科書P84-94 生物によるけが、中毒、災害時の対応について確認する。90分 〈復習〉野外活動の際に注意すべき生物のけがについてまとめる。90分
	14	心肺蘇生実技評価セッション（乳児、小児） 〈予習〉実技評価表を使用し、乳児・小児への心肺蘇生手順とスキルを確認する。90分 〈復習〉実技評価の結果から、改善の必要な手順とスキルを再確認する。90分
	15	事後指導　3日間のまとめ、振り返りシートへの記入 〈予習〉10-15回目までの内容をテキストを参照し確認する。90分 〈復習〉ワークシートをまとめる。90分
定期試験	◆集中講義のため定期試験は実施しないが、授業中に行われる「FIRSTAIDER with CPR Training Certificate」認定取得のための実技試験や中間試験等を実施します。	